

桔梗に花が咲かない地域の悲話

—— 取手市米ノ井・桔梗塚

夏から秋にかけて美しい花を咲かせる桔梗の花は青紫の可憐な花で、万葉の昔から日本人に親しまれてきました。

ところが取手市や守谷市付近の桔梗は決して花を咲かせないという伝説が残されています。その理由とは、平将門の恨みによるものだといわれています。

常総地域一帯を支配下に治めた将門は、のちに将門を滅ぼすことになる藤原秀郷の娘・桔梗の御前を陣内に迎え入れます。ところが、この桔梗の御前は秀郷の策略によるスパイであったという言い伝えがあります。

桔梗の御前は将門の動向を秀郷に伝えました。その結果、泥田の中で馬が身動きできなくなった将門は、秀郷と同盟を結んでいた平貞盛によって討ち取られたというのです。



この桔梗の御前の行動を恨んだ将門によって、この地方の桔梗は花をつけないといわれています。

この話は取手市ばかりではなく、守谷市、常総市、千葉県佐倉市など広く伝えられており、「花なし桔梗」の伝説として残されているそうです。

一方、桔梗の御前は自らの策略が明らかになることを恐れた秀郷によって殺害されたとも、将門の死によって取手まで来て、追手によって殺されたともいわれています。

また、桔梗の御前は将門の子どもを産んだという話や秀郷の娘ではなかったという説もあります。いずれにしても、桔梗の御前の悲劇は将門伝説の一つとして後世に伝えられていくことでしょう。

自然の中では絶滅が心配されている桔梗ですが、私たちの生活に潤いを与えてくれる花々にもいろいろな悲話が進められていたのですね。

〈参考文献〉茨城の伝説「茨城歴史散歩」ほか



【アクセス】関東鉄道常総線稲戸井駅近く、国道294号線沿い

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>